

パッケージエアコン 取扱説明書

天井埋込ダクト形

形名

室内ユニット

RDA-MAP2244UHN

RDA-MAP2804UHN

RDA-AP4502UH

RDA-AP5602UH

RDA-AP6302UH

RDA-AP8002UH

日本国内専用品

Use only in Japan

もくじ

安全上のご注意	1
製品仕様	4
始動および停止	6
リモコン(別売品)操作方法	7
運転のしかた	9
タイマー運転のしかた	10
故障診断	11
お手入れのしかた	14
保証とアフターサービス	15
保守点検契約について	17
定期点検/簡易点検のお願い	17

<フロン排出抑制法によるフロン類充填量の確認のお願い>

- この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
この製品を廃棄・整備する場合は、フロン排出抑制法に基づくフロンの回収、運搬、破壊費用が必要です。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量および、その地球温暖化係数は、「仕様」の項目に記載しています。
システム全体でのフロン類に関する数値は、室外ユニットに表示されています。








- このたびはパッケージエアコンをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくためにお使いになる前にこの取扱説明書と室外ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず本書をお渡しください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。保証書を必ずお受け取りください。

安全上のご注意







1. ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
2. ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性の大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

記号の意味

-  **警告** 取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合を示します。
-  **注意** 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。
-  危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
-  禁止の行為であることを告げるものです。
-  行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。







※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

《 I. 使用上の注意事項 》

⚠警告	
電気部品箱のフタを開けないでください。 感電の原因になります。	
長期使用で据付台等が痛んでないか注意してください。痛んだ状態で放置すると ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。	
パネルを開いたまま運転しないでください。 やけどやケガの恐れがあります。	
空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒を入れないでください。内部でファンが 高速回転しておりますのでケガの原因になります。	
電源スイッチやブレーカー等の入り切りによりユニットの運転・停止をしないで ください。感電や火災の原因になります。	
故障や破損をしたまま運転しないでください。重大な事故につながる恐れがあり ます。修理に不備があると感電・火災等の原因になります。	










⚠ 警告	
ユニットを改造しないでください。 感電・火災等の原因になります。	
濡れた手でスイッチを操作しないでください。 感電の原因となることがあります。	
ユニットを水洗いしないでください。 感電の原因になることがあります。	
ユニットの上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。	
モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。 故障や感電の原因になることがあります。	
ユニットのキャビネットや電装箱の蓋を外したままの運転は行なわないでください。充電部を露出した状態での運転は、感電や火災の原因となることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。不当に変更すると、火災等の原因になることがあります。	
長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。 体調悪化・健康障害の原因となります。	
燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。 換気が不十分な場合は、酸欠の原因になることがあります。	
エアコンの風が直接あたる場所に燃焼器具を置かないでください。 燃焼器具の不完全燃焼による事故の原因となることがあります。	
異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。	
万一、冷媒が漏れたときは、ストーブ等の火気を消し、床面を掃くように換気し、お買い上げの販売店・専門業者または、弊社支社店に連絡してください。不燃性・非害性・無臭性の安全冷媒を使用していますが、火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。	
フロン類をみだりに大気中に放出しない フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。	
⚠ 注意	
食品・動植物・精密機械・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。 品質低下等の原因となる場合があります。	
空気熱交換器のアルミフィンには触れないでください。触れると、ケガの原因になることがあります。	
ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。	

⚠ 注意

正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。 針金や銅線を使用すると火災の原因となります。	
圧縮機や冷媒配管等の高温部には触れないでください。 高温部に触れると、やけどの恐れがあります。	
可燃性スプレーをユニットの近くに置いたり、ユニットに直接吹きかけたりしないでください。発火の原因となることがあります。	
掃除をする時は必ずスイッチを「停止」にして、電源スイッチも切ってください。 内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。	
動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。	
バルブ類は、取扱説明書・据付説明書・銘板の指示に従い、全て開閉状態を確認してください。特に、保安上のバルブ（安全弁等）は運転中必ず開いてください。 開閉状態に誤りがあると、水漏れや火災・爆発の原因になることがあります。	

≪Ⅱ. 移設・修理時の注意事項≫

⚠ 警告

室外ユニットへの冷媒回収は絶対にしないでください。移設や修理時の冷媒回収は必ず冷媒回収機で行なってください。室外ユニットへの回収はできません。 室外ユニットへの冷媒回収を行なうと、破裂・けがなどの重大な事故の原因となります。	
冷媒や冷凍機油の種類を間違えないでください。 火災・爆発の原因となることがあります。	
屋内で修理される場合は、換気に注意してください。換気が不十分な場合、万一冷媒が漏洩すると酸欠事故につながる原因となることがあります。	
改造は絶対に行なわないでください。 感電、火災等の原因になります。	
保護装置を短絡して、強制的な運転を行なわないでください。 火災や爆発の原因となることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。 火災等の原因となることがあります。	
冷媒の溶栓をハンダ付けしないでください。 規定外の溶栓を使用されますと、爆発の原因となることがあります。	
ユニットを移動再設置する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。据え付けに不備があると、感電、火災の原因になります。	
修理は、お買上げの販売店にご相談ください。 修理に不備があると、感電、火災等の原因になります。	

製品仕様

室内ユニットと室外ユニットの組合せご確認

室内ユニットと室外ユニットの組合せは下表に示す通りですのでご確認ください。

■ 室内ユニットと室外ユニットの組合せ表

表－１ 製品組合せ表

室内ユニット RDA-	室外ユニット ROP-
MAP2244UHN	MAP2244H
MAP2804UHN	MAP2804H
AP4502UH	AP2247S (※) × 2 または AP2246HS × 2 または AP2245HT-1 × 2
AP5602UH	AP2807S (※) × 2 または AP2806HS × 2 または AP2805HT-1 × 2
AP6302UH	AP2247S (※) × 3 または AP2246HS × 3 または AP2245HT-1 × 3
AP8002UH	AP2807S (※) × 3 または AP2806HS × 3 または AP2805HT-1 × 3

(※) ROP-AP2247S, AP2807Sは、冷房専用です。

表－２ 製品仕様表

機種	RDA-	MAP2244UHN	MAP2804UHN	AP4502UH	AP5602UH	AP6302UH	AP8002UH
組合せ室外 ユニット	ROP-	MAP2244H	MAP2804H	AP2247S×2 または AP2246HS×2 または AP2245HT-1×2	AP2807S×2 または AP2806HS×2 または AP2805HT-1×2	AP2247S×3 または AP2246HS×3 または AP2245T-1×3	AP2807S×3 または AP2806HS×3 または AP2805HT-1×3
種類	形態：天埋ダクト形 機能：冷房・暖房兼用または冷房専用 ユニット構成：分離形						
電源	三相 200V 50/60Hz						
運転質量 (kg)	100	100	230	240	305	325	
外形寸法 H×W×D (mm) 注1	490×1120×1150		670×1970×1150		855×1740×1562		
冷媒 注2	R410A						
二酸化炭素換算値 (トン) 注3	ROP-MAP2244H/2804H	24.1	24.1	27.4	27.4	41.1	41.1
	ROP-AP2245HT-1/2805HT-1						
	ROP-AP2246HS/2806HS	-	-	24.8	24.8	37.2	37.2
	ROP-AP2247S/2807S						
冷房能力 (kW)	20.0	25.0	40.0	50.0	56.0	71.0	
冷房消費電力 (kW)	5.27	8.02	-	-	-	-	
暖房能力 (kW)	22.4	28.0	45.0	56.0	63.0	80.0	
暖房消費電力 (kW)	5.59	6.97	-	-	-	-	
通年エネルギー 消費効率 (APF) 注4	APF2006	4.6	4.2	-	-	-	-
	APF2015	4.0	3.5	-	-	-	-
区分名	ah	ah	-	-	-	-	
送風機	シロッコファン(直結駆動)		シロッコファン(ベルト駆動)				
風量 (m ³ /min)	最小	56	70	100	145	154	192
	定格	70	87	140	170	210	255
	最大	84	104	170	200	230	288
騒音値 (dB(A)) 注5	定格騒音 (音響パワーレベル) 注6	71/71	73/73	78/80	80/82	81/83	82/84
	運転音 (音圧レベル) 注7	53/53	54/54	58/60	69/61	59/61	60/62
標準ファンモータ出力 (kW)	1.5	1.5	2.2	3.7	3.7	5.5	
冷媒配管接続	ろう付接続						
ガス側接続径 (mm)	φ25.4	φ25.4	φ25.4×2	φ25.4×2	φ25.4×3	φ25.4×3	
液側接続径 (mm)	φ12.7	φ12.7	φ9.5×2	φ12.7×2	φ9.5×3	φ12.7×3	
ドレン配管接続口	PT25Aオネジ			PT32Aオネジ			

注1. 外形寸法は電装ボックスを除きます。

注2. 地球温暖化係数(GWP)は 2090 です。

注3. 組合せ室外ユニットにより値は異なります。

注4. 通年エネルギー消費効率は、東京地区にて事務用途で算出(JIS B8616：2006、JRA4048：2006)

注5. / は50Hz/60Hzを示します。

注6. 定格騒音(音響パワーレベル)の測定方法は JRA4002：2013Rに準拠し、無響室で測定した値です。

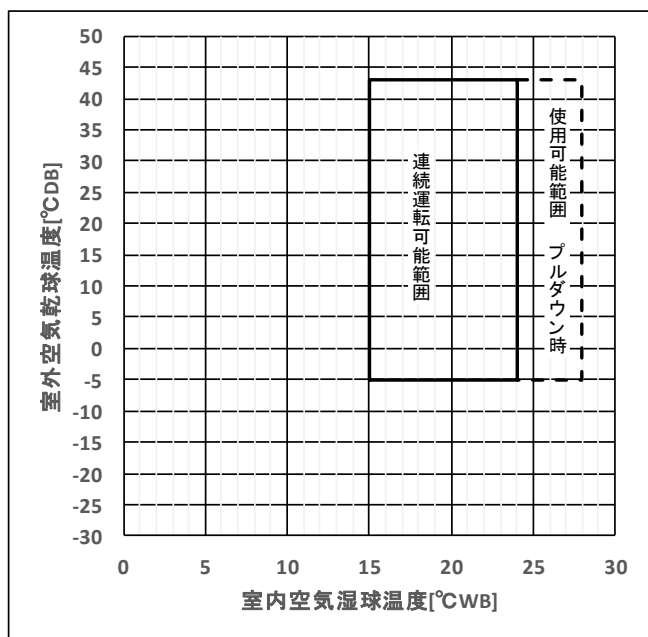
注7. 運転音(音圧レベル)の測定方法は JIS B 8616：2006に準拠し、無響室で測定した値です。

ユニット使用範囲

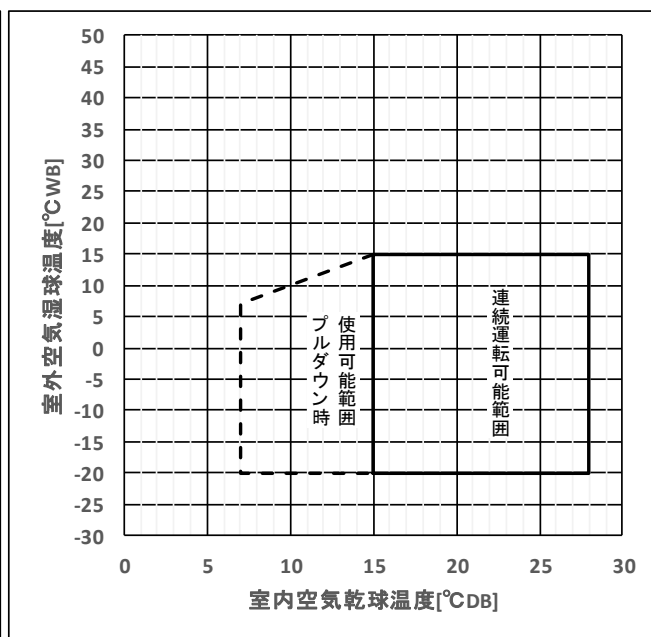
電源電圧	200V±10%以内、相間バランス±2%以内(※) ※(最大・最小電圧－平均電圧)÷平均電圧×100
周囲湿度	80%RH 以下
周囲温度	下図参照

組合せ室外ユニット：ROP-MAP2244H、ROP-MAP2804H

冷房運転使用範囲



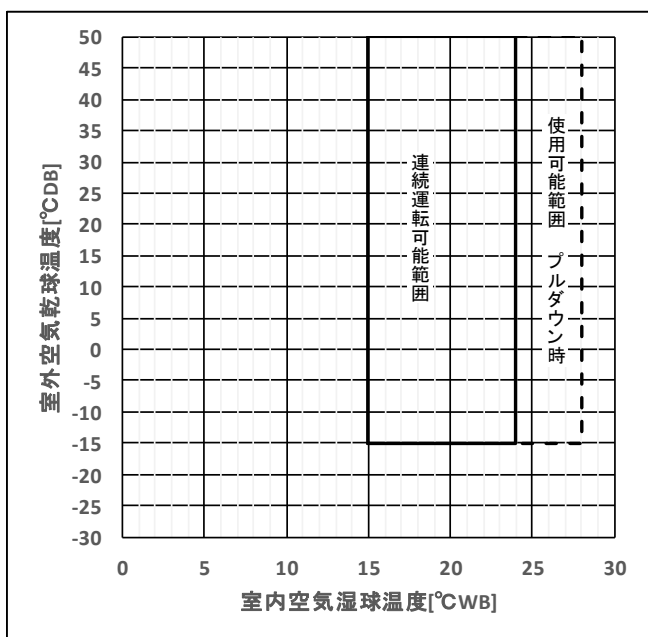
暖房運転使用範囲



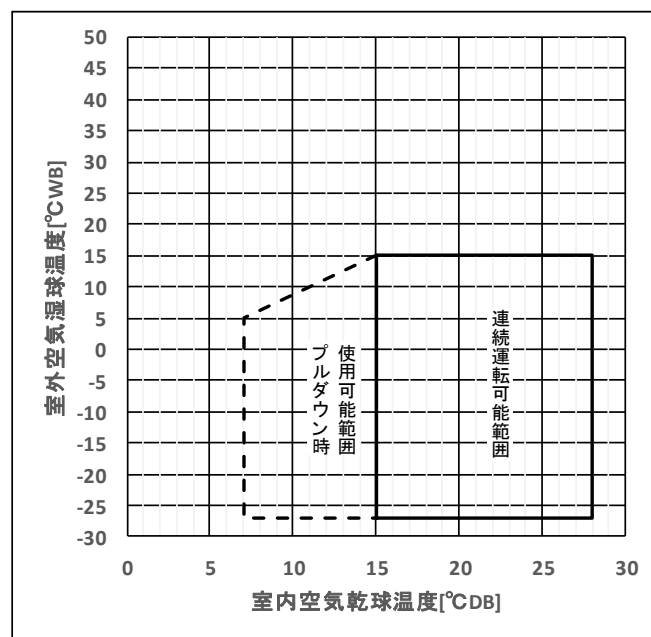
組合せ室外ユニット：ROP-AP2247S、ROP-AP2807S ※冷房専用

：ROP-AP2246HS、ROP-AP2806HS

冷房運転使用範囲

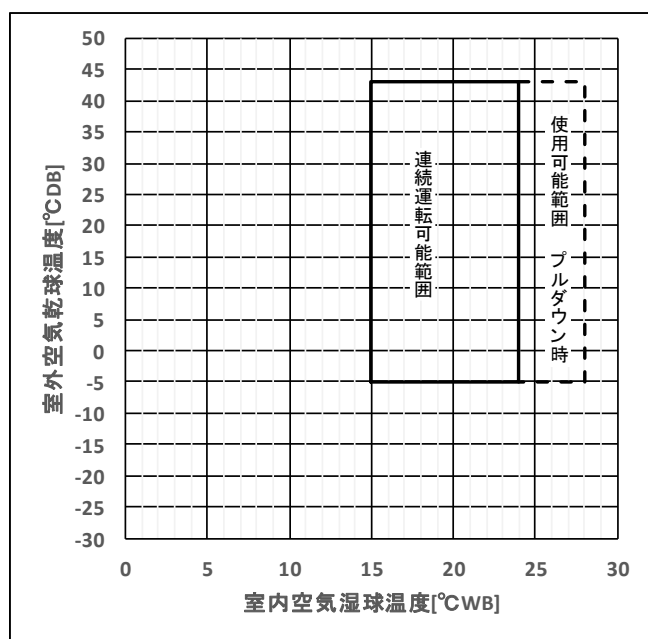


暖房運転使用範囲

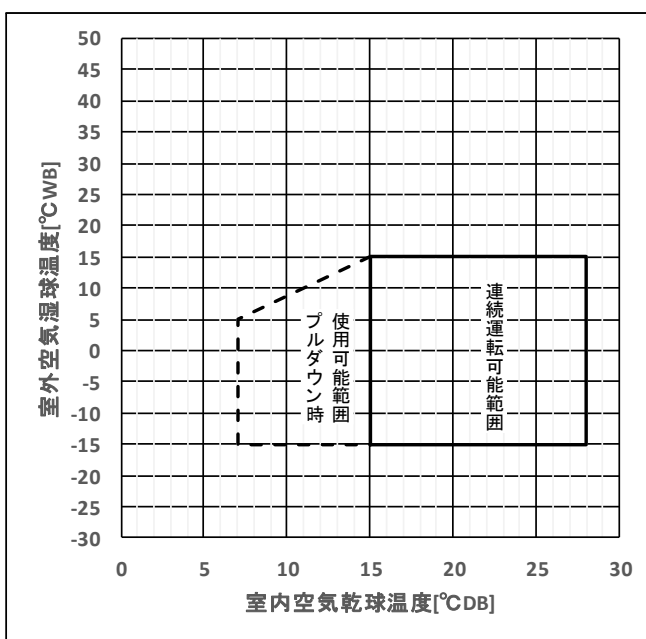


組合せ室外ユニット：ROP-AP2245HT-1、ROP-AP2805HT-1

冷房運転使用範囲



暖房運転使用範囲



始動および停止

電源スイッチやブレーカの入り切りによりユニットの運転・停止をしないでください。

(1) 短期間の運転停止

- ① 日常的な運転停止は、リモコンの操作で行なってください。
- ② 決してユニットの元電源は切らないでください。ケースヒータの通電を続けるためです。

(2) 長期間の運転停止

長期間運転を停止する場合、次の手順に従ってください。

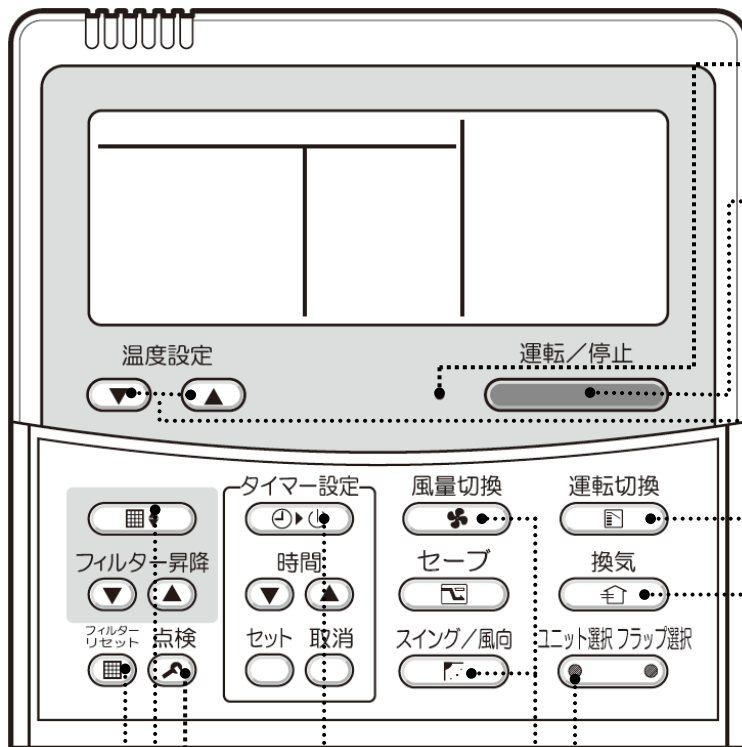
- ① まず、リモコンでユニットを停止させてください。
- ② 次に、ユニットの電源スイッチを切ってください。

(3) ユニット運転上の注意

ユニット運転にあたって、少なくとも 12 時間前にユニットに電源を入れて、ケースヒータによる冷凍機油の加熱を行なってください。冷凍機油の加熱を怠ると、ユニット始動時にオイルのフォーミング現象を起こし、圧縮機の損傷につながります。したがって、始動運転時には最低 12 時間前にユニットに電源を入れておくことと、日常的な運転停止時には、ユニット電源は切らずにおき、“運転／停止” ボタンにて行なうことが必要です。

リモコン(別売品)操作方法

操作部 ●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



運転ランプ

運転中に点灯します。
異常時、保護装置動作時は点滅します。

運転／停止ボタン

ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

温度設定ボタン

設定温度を調整します。
▼▲を押してお好みの設定温度に合わせます。

運転切換ボタン

運転モードを切り換えるときに押します。

換気ボタン

本ユニットでは使用しません。

風量切換ボタン

本ユニットでは使用しません。

スイング／風向ボタン

本ユニットでは使用しません。

ユニット選択ボタン

ユニットを選択するときに使用します。

フィルターリセットボタン

「フィルター」表示をリセット（消灯）します。エアフィルターの掃除が終わりましたら、このボタンを押してください。

フィルター昇降ボタン

本ユニットでは使用しません。

点検ボタン

サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。

リモコンセンサー

通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくは、お買いあげの販売店にご相談ください。
※グループ制御時は設定しないでください。

表示部 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

●漏電ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に **設定中** が点滅します。

この表示中は自動機種確認中ですので **設定中** が消えた後リモコン操作を行ってください。

運転切換表示

お好みの運転モードを表示します。

設定中表示

タイマー設定中等に表示します。

タイマー時間表示

タイマーの時間を表示します。
(異常時には点検コードを表示します)

点検表示

保護装置動作時および異常時に表示します。

集中管理中表示

集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。

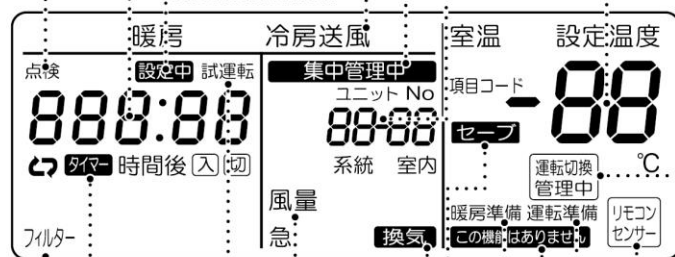
集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき **集中管理中** が点滅し、変更を受け付けません。(集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコンの取扱説明書をご確認ください)

ユニット No 表示

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニット No を表示します。

設定温度表示

選択した設定温度を表示します。



運転切換管理中表示

エアコンの管理者によって運転モードが冷房または暖房に固定されているときに「運転切換」ボタンを押すと表示されます。

リモコンセンサー表示

リモコンセンサー使用時に表示します。

フィルター表示

この表示が点灯したらエアフィルターの掃除をしてください。

タイマー設定表示

タイマー設定ボタンを押すと、
[切] 切タイマー → [↺] 繰り返し切タイマー → [入] 入タイマー → 表示なし
の順に切り換わります。

試運転表示

試運転中に表示します。

運転準備表示

機種によって表示する場合があります。

機能なし表示

ボタンを押しても機能がないときに表示します。

暖房準備表示

暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

セーブ運転表示

セーブ運転中に表示します。

換気運転表示

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

風量表示

運転のしかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から運転／停止ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

漏電ブレーカーを入れる

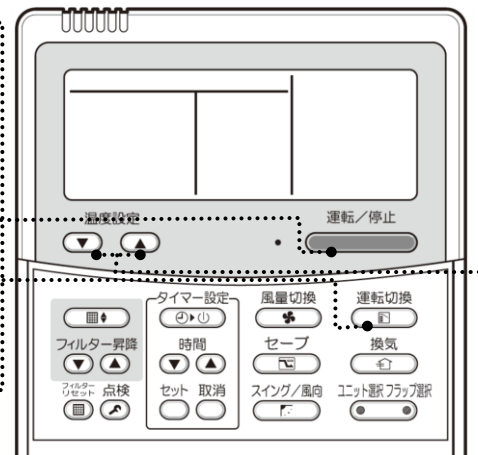
- ・電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。

お願い

- ・使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
- ・長期間停止後／運転開始をするときは、**12時間以上前**に漏電ブレーカーを入れてください。

- 1 **運転／停止** を押して運転する
●運転ランプが点灯します。
- 2 **運転切換** を押して「運転の種類」を選ぶ
●ボタンを押すたびに運転表示が変わります。

暖房 → 冷房 → 送風
- 3 **運転／停止** を押して運転を止める
●運転ランプが消えます。



温度を変えるとき

- 1 **温度設定** を押して選ぶ
● **▲**を押すと温度があがり、**▼**を押すと温度が下がります。(送風時は温度の設定ができません。)

- 温度センサーが感知する温度は、室内ユニットの吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定温度は目安としてください。
- 暖房運転の場合は、停止後 30 秒ほど送風運転を続ける場合があります。

タイマー運転のしかた

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます)

切タイマー

繰り返し切タイマー

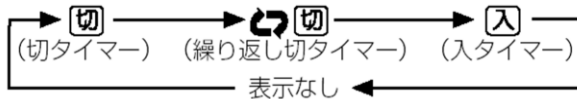
入タイマー

設定時間になると運転を停止します。 毎回、設定時間後運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。

タイマー運転のしかた

1 タイマー設定を押す

- ボタンを押すたびにタイマーの表示(種類)が変わります。



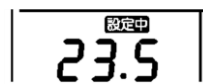
- 設定中と時間表示が点滅します。

2 時間を押して「設定時間」を選ぶ

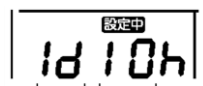
- を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)単位で増加します。1d(24時間)以上は1時間単位で増加します。上限は7d(168時間)です。
- リモコンの表示は0.5時間から23.5時間(*1)までは設定時間の数字です。
- 24時間以上(*2)は日数と時間で表示します。
- を押すごとに設定単位を0.5時間(30分)単位(0.5時間から23.5時間)または1時間単位(24時間から168時間)で減少します。

リモコンの表示例

- 23.5Hの場合(*1)



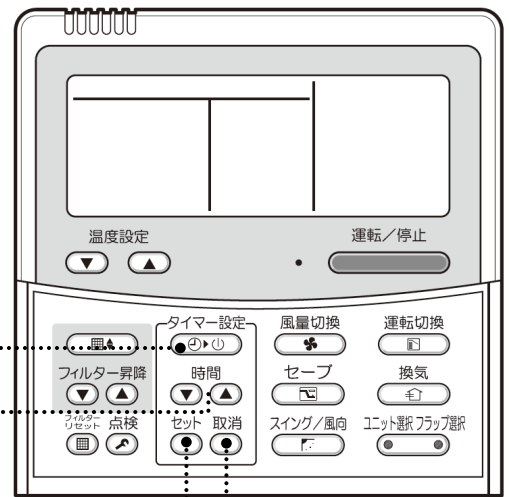
- 34Hの場合(*2)



1dは1日(24時間)を表わします。
10hは10時間を表わします。

3 セットを押す

- 設定中が消えて時間表示が点灯し、またはが点滅します。(入タイマーのときは時間表示、タイマー時間後以外の表示が消灯します。)



お知らせ

- 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再びを押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。

タイマー運転取り消しのしかた

取消を押す

- タイマー表示が消えます。

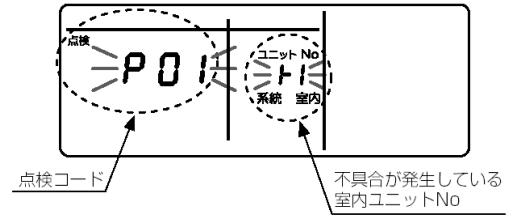
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが表示されます。

点検コードは、運転中にのみ表示されます。

表示が消えてしまった場合は、下記の『故障履歴の確認』に従って操作し確認してください。



故障履歴の確認

エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。（故障履歴は4つまでメモリされます。）

運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

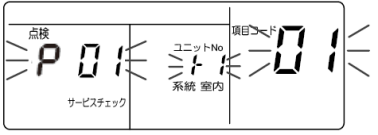
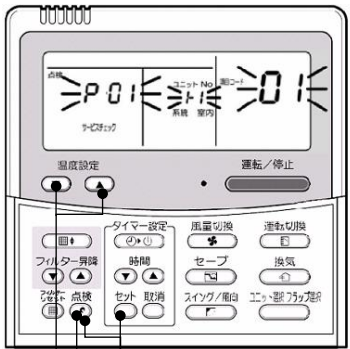
手順	操作内容
①	<p>「セット」＋「点検」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように表示されます。表示部に「サービスチェック」が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目コードに、「01：故障履歴の順番」が表示されます。 ・点検に「点検コード」が表示されます。 ・室内ユニットNoに「不具合が発生した室内ユニットアドレス」が表示されます。 
②	<p>温度設定の「▼／▲」ボタンを押すごとに、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。</p> <p>項目コードは、項目コード〔01〕（最新）…→項目コード〔04〕（一番古い）を示します。</p> <p>お願い</p> <p>「取消」ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。</p> 
③	<p>確認できたら「点検」ボタンを押して通常表示に戻ります。</p> <p>② ③ ①</p>

表-3 点検コードと点検箇所

表示	代表故障箇所	検出	点検箇所と故障内容	エアコンの状態
E01	リモコン親なし	リモコン	リモコンの誤設定…親リモコンが設定されていない場合（含む2リモコン）	運転継続
E02	リモコン通信異常	リモコン	渡り線、室内 PC 板、リモコン…室内ユニットから信号が受信できない場合	全停止
E03	室内⇄リモコン間 定期通信エラー	室内	リモコン、通信アダプタ、室内 PC 板…リモコン及び通信アダプタから通信が無い場合	自動復帰
E04	室内外シリアル異常 IPDU-CDB 間通信異常	室内	渡り線、室内 PC 板、室外 PC 板…室内外間シリアル通信に異常のある場合	自動復帰
E08	室内アドレス重複☆	室内	室内アドレス誤設定…自分と同じアドレスを検出した場合	自動復帰
E09	リモコン親重複	リモコン	リモコンアドレス誤設定…2リモコン制御で2台とも親に設定した場合 （*注：室内親は警報停止、子は運転継続）	*注
E10	CPU 間通信異常	室内	室内 PC 板…メイン-モーター-マイコン間の MCU 間通信が異常の場合	自動復帰
E18	室内ユニット親子間 定期通信エラー	室内	室内 PC 板…室内親子間の定期通信ができない場合 以下、電源投入時にエラー発生がする場合 グループ設定不良：同一のグループにしたい全ての室外ユニットの電源を OFF にした後、全ての室外ユニットの電源を約 1 分以内に投入し直す事で再設定されます。 ファンモーターサーマルリレー作動：サーマルの手動リセット 室内側電源未通電：室内ユニットの電源を入れる。 補助リレー動作不良：室内基板 CN076 に接続されているリレーの動作を確認する。	自動復帰
F01	室内ユニット 熱交センサ(TCJ)異常	室内	熱交センサ(TCJ)、室内 PC 板…熱交センサ(TCJ)のオープン・ショートを検出した場合	自動復帰
F02	室内ユニット 熱交センサ(TC)異常	室内	熱交センサ(TC)、室内 PC 板…熱交センサ(TC)のオープン・ショートを検出した場合	自動復帰
F04	室外ユニット 吐出温度センサ(TD)異常	室外	室外温度センサ(TD)、室外 PC 板…吐出温度センサのオープン・ショートを検出した場合	全停止
F06	室外ユニット 温度センサ(TE,TS)異常	室外	室外温度センサ(TE,TS)、室外 PC 板…熱交温度センサのオープン・ショートを検出した場合	全停止
F08	室外ユニット 外気温センサ異常	室外	室外温度センサ(TO)、室外 PC 板…室外気温センサのオープン・ショートを検出した場合	運転継続
F10	室内ユニット 吸込温度センサ(TA)異常	室内	吸込温度センサ(TA)、室内 PC 板…室温センサ(TA)のオープン・ショートを検出した場合	自動復帰
F29	室内ユニット 他の室内基板異常	室内	室内 PC 板…E2PROM 異常の場合	自動復帰
H01	室外ユニット コンプレックダウン	室外	電流検出回路、電源電圧…電流リリース制御にて min-Hz 到達時、直流励磁以降の短絡電流(I _{dc})検出など	全停止
H02	室外ユニット コンブロック	室外	コンプレ回路…コンプレッサのロックを検出した場合	全停止
H03	室外ユニット 電流検出回路異常	室外	電流検出回路、室外 PC 板…AC-CT にて異常電流を検出した時、欠相を検出した時	全停止
H06	室外ユニット 低圧系異常	室外	電流、高圧スイッチ回路、室外 PC 板…Ps 圧力センサ異常、低圧保護動作	全停止
L03	室内ユニット親重複☆	室内	室内アドレス誤設定…グループ内に親機が複数存在する場合	全停止
L07	個別室内ユニットに グループ線あり☆	室内	室内アドレス誤設定…個別室内ユニットにグループ接続室内ユニットが1台でもいる場合	全停止
L08	室内グループアドレス 未設定☆	室内	室内アドレス誤設定…室内アドレスグループ未設定の時	全停止
L09	室内能力未設定	室内	室内ユニットの能力が未設定	全停止
L20	LAN 系通信異常	通信アダ プタ集中	アドレス設定、集中管理リモコン、通信アダプタ…集中管理系通信のアドレス重複	自動復帰
L29	室外ユニット 他の室外ユニット異常	室外	その他室外ユニット異常 1)IPDU-CDB 間の MCU 間通信が異常の場合 2)IGBT のヒートシンク部温度センサにて異常温度を検出した場合	全停止
L30	室内ユニットへの外部異常 入力あり（インターロック）	室内	外部機器チェック、室外 PC 板…CN80 外部異常入力で異常停止	全停止
L31	相順異常 その他	室外	電源相順、室外 PC 板…三相電源の相順が異常の時 室内ファンモーター用インバータ異常（RDA-MAP2244,2804UHN のみ）	全停止
P01	室内ユニット 室内ファン異常	室内	室内ファンモーター、室内 PC 板…室内 AC ファンの異常（ファンモーターサーマルリレー動作）を検出した場合	全停止

P03	室外ユニット 吐出温度異常	室外	吐出温度リリース制御にて異常を検出した場合	全停止
P04	室外ユニット 高圧系異常	室外	高圧スイッチ、IOL が動作した場合・TE による高圧リリース制御にて異常を検出した時	全停止
P10	室内ユニット溢水検出	室内	ドレンパイプ、排水詰り、フロートスイッチ回路、室内 PC…配水系異常、フロートスイッチが動作した場合	全停止
P19	四方弁異常	室内	四方弁チェック、室内温度センサ(TC,TCJ) チェック…暖房時室内熱交センサの温度低下により異常を検出した場合	全停止
P22	室外ユニット 室外ファン異常	室外	室外ファンモータ、室外 PC 板…室外ファン駆動回路にて異常(過電流・ロック等)を検出した時	全停止
P26	室外ユニット インバータ Idc 動作	室外	IGBT、室外 PC 板、インバータ配線、コンプレッサ…コンプレッサ駆動回路素子(G-Tr・IGBT)の短絡保護動作が働いた場合	全停止
P29	室外ユニット 位置検出異常	室外	室外 PC 板、高圧スイッチ…コンプレッサモータの位置検出異常を検出した時	全停止
P31	他の室内ユニット異常	室内	グループ内部の他の室内が警報中の場合 EO3/LO7/LO3/LO8 警報	自動復帰
-	室内グループ内異常	通信アダプタ	リモコングループ内での子機の異常(手元リモコンは号機とともに詳細表示、集中管理側のみ表示)	-
-	LAN 系通信異常	通信アダプタ集中	集中管理系信号の通信異常 *手元リモコンには表示しません	運転継続
-	通信アダプタが複数台	通信アダプタ	リモコン通信線に通信アダプタが複数台ある場合	運転継続

☆：この時は自動的に自動アドレスモードへ移行します。

その他の故障の原因と対策

故障の内容	原因	対策
送風機が回転しない	インバータの設定不良(**UH型)	納入時の設定に直す
	Vベルト切れ(**UH型)	ベルトを交換する
	過負荷保護装置が働いている	過負荷の原因を取り除く
風量が少ない	Vベルトのゆるみ(**UH型)	張りを調整する
	エアフィルタの目詰まり	洗浄する
	送風機回転数が低い(**UH型)	インバータ出力周波数を調整する
においがする	Vベルトのゆるみによる焼け(**UH型)	交換または張りを調整する
送風機回りのガラガラ音	ベアリング(**UH型)	交換する
送風機回りのキューキュー音	Vベルトのゆるみ(**UH型)	張りを調整する
冷房(または暖房)能力の低下	風量が少ない	ダクト系および送風機を点検する

お手入れのしかた

エアフィルター（現地手配）

エアフィルターは定期的に清掃を行なってください。フィルターの目詰まりは風量を低下させ、場合によっては圧縮機の故障となります。

《フィルターの清掃方法》フィルターは洗剤水溶液ですすぎ洗いをするか、掃除機により汚れを吸い取ってください。

V ベルト(RDA-AP****UH 型)

ベルトの張りが弱いとスリップしたり摩耗したりします。必要に応じて点検し、張りの調整を行なうとともに、摩耗がひどいときはベルトを交換してください。

ベルトはレッドベルト(高抗張力ベルト)を使用してください。ベルトが新しい場合初期伸びが発生しますので、約 1 ヶ月後に再調整が必要です。詳しくは据付説明書を参照してください。

ベアリング (RDA-AP****UH 型)

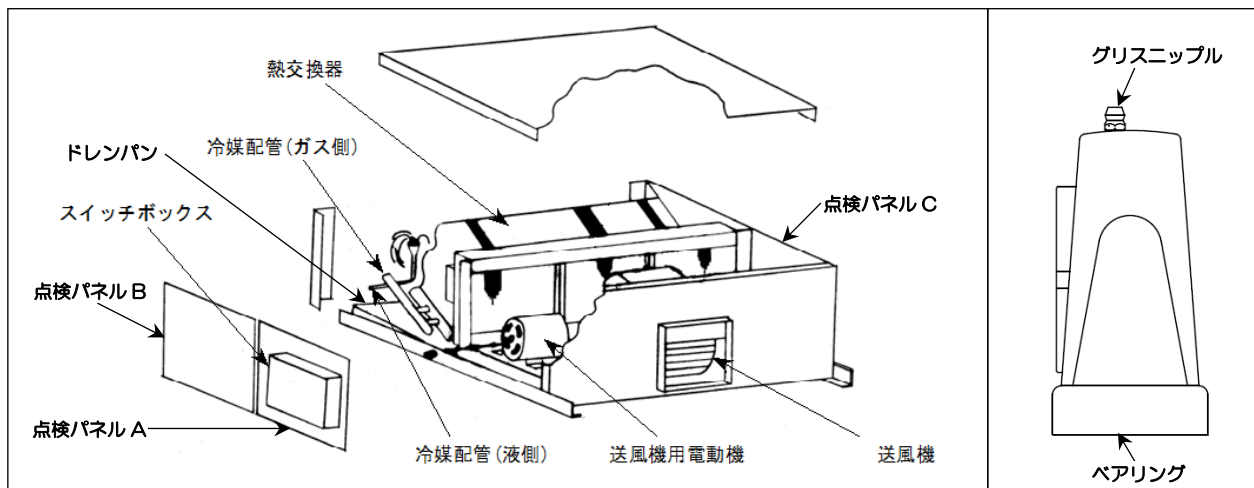
15,000hr毎を目安に点検パネルA・Cを開けて送風機左右のベアリングを点検し、必要に応じてグリスを給油してください（使用条件によって給油する頻度は変わります）。給油は弊社指定のグリス（アルバニア No.2,3,S3）を使用し、下表の補給量をグリスニップルから充填してください。必要量以上に給油したり、指定外のグリスを給油したりすると故障の恐れがあります。

表－3 ベアリンググリス補給量

機種（RDA-AP）	グリス標準補給量(g)	
	ブーリ側	反ブーリ側
4502UH、5602UH、6302UH、8002UH	4.4	4.4

ドレンパン

ドレンパンの上にゴミ等がたまり、ドレン配管を詰まらせると室内側に水があふれることがあります。定期的に点検パネルBを開けて点検し、ドレンパン上のゴミ等を取り除いてください。



保証とアフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。

なお、所在地は裏面をご参照ください。

補修用性能部品の最低保有期間

パッケージエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 9 年間です。

この期間は、家庭電気製品の経済産業省の指示に準じています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

保証期間

パッケージエアコンの無償保証期間は、お買い上げ後 1 年間です。

ただし下記使用法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

有償修理となる範囲

- (a) 本説明書に指定した室内温度、外気温度等の使用範囲を守らなかったことによる故障の場合
- (b) 指定冷媒以外の冷媒を使用した場合
- (c) 弊社の製品仕様を据え付けに当たって改造した場合、または弊社製品付属の保護機器を使用せずに故障となった場合
- (d) 規定の電圧以外の条件による故障の場合および弊社指定以外の汎用のインバータ等を使用した故障の場合
- (e) 弊社以外の業者による運転、調整、保守の不備が原因で起こした故障の場合
 - 塩害
 - 据付場所による故障（化学薬品等の特殊環境条件）
 - 調整ミスによる故障
 - メンテナンス不備（冷媒漏れを気付かなかった場合）
 - 修理作業ミス（部品違い、欠品、技術不良、製品仕様と著しく相違する場合）
 - 冷媒過充填、冷媒不足に起因する故障（始動不良、圧縮機冷却不良）
 - 氷結・雪害による故障
 - 真空運転による空気、水分を吸い込んだと判断される場合
- (f) 天災、火災による故障
- (g) 据付工事に不具合がある場合
 - 据付工事中取扱不良のため損傷、破損した場合
 - 弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
 - 振動が大きく、もしくは運転音が大きいのを承知で運転した場合
 - 軟弱な基礎、軟弱な架台が原因で起こした故障の場合
- (h) その他、据え付け、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での故障は一切保証できません。また、故障に起因した冷却物、営業補償等の二次補償はいたしませんので弊社特約店等と相談の上損害保険のご加入をお勧めいたします
- (i) 国外で使用了した場合
- (j) 車輦、船舶等に使用了した場合

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってからお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。

修理には、専門の技術が必要です。

保証期間中は

お買い上げの販売店または弊社にて保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン
形名	
製造番号	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	
ご住所	
電話番号	
訪問希望日	
お買上げ店名	
電話番号	

お買上げ店名を記入されておくと便利です。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品の代金です。
出張料	商品のある場所に技術者を派遣する料金です。
材料費	修理に使用した材料の代金です。
運搬費	部品の運搬するための料金です。
その他	上記以外で修理にかかる料金です。(破棄費・撤去費等)

保守点検契約について

製品の機能を、いつも完全に機能させるためには正しくご使用いただくと同時に、定期的な保守点検が必要です。据付工事業者の方または、お買い上げの販売店・弊社支社店とご相談の上、是非保守点検契約する事をお奨め致します。

- パッケージエアコンをいつまでも最良の状態でお使いいただくために
お手入れの良し悪しで、パッケージエアコンの寿命や働きに大きな差が生じます。
弊社では、特に弊社パッケージエアコンご愛用者のために、お手数のかからない便利なメンテナンス（保守手入れ）を実費でお引き受けしております。
- 専門の技術員が完全にお手入れいたします。
シーズン中の定期的な巡回サービス、シーズン前後のお手入れを、専門の技術員によって実費でお引き受けしております。
- 保守に関するご用命・ご相談はこちらまでお問い合わせください。

日本キヤリア株式会社サービス営業部サービスセンター/0120-1048-37

定期点検/簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン類排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮電動機定格出力	定格点検頻度
7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
50kW 以上	1年に1回以上

簡易点検は、四半期に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、また専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外ユニット 点検	・機器の異常振動・異常運転
	・機器および機器周辺の油のにじみ
	・機器の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など
室内ユニット 点検	・熱交換器の霜付の有無

点検は、安全で安易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンが効かなくなった」などの状況になりましたらこれらの点検を行うとともに専門業へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/>

MEMO

[illegible]



日本キャリア株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー7 階

● この説明書は2024年5月現在のものです。 ● この説明書に掲載の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。